

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年9月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670101908
法人名	公益財団法人 慈愛会
事業所名	グループホーム 愛と結の街
所在地	鹿児島県鹿児島市小原町9番28号 (電話) 099-267-0533
自己評価作成日	平成25年6月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年8月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①地域との交流～女性学級、消防訓練、町内会加入、実習生受け入れ、ボランティアの受け入れ、野菜販売など積極的に行っている。
- ②活力ある環境づくり～ウッドデッキや畑を活用して、季節の花や野菜を植えている。
- ③利用者の状況に応じて、老健のPT OT ST 歯科衛生士など、必要時、助言してもらい、健康の維持に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・交通の便に恵まれた住宅地の中に立地し、近くには同法人の協力医療機関や老人健施設等があり、利用者及び家族が健康管理及び医療面で安心して過ごせる事業所である。
- ・重度化や終末期の対応については事業所の方針が明確にされており、早期から家族等へ説明がなされている。家族等の希望に沿ってなされた看取りが複数例あり、事業所と協力医療機関の医師や看護師との協力体制が築かれている。
- ・トイレにあるパット等は名前が見えないような工夫をすることでプライバシーやプライドを守り、夜間の排泄は時間誘導等で睡眠を妨げることなく本人のペースで対応する等、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。
- ・自治会に加入し、婦人学級や地域行事へも積極的に参加し、防災訓練や月行事等の地域住民の協力も得られ、日常的に交流している。
- ・利用者個人々々をよく把握し、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように一人ひとりの生活歴や能力を活かした役割を支援している。
- ・代表者は、有給以外に育児休暇や介護休暇等も含め、職員が働きやすい環境作りに配慮し、職員はケア対応等のさらなる向上を目指している。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホーム独自の理念を掲揚し朝礼時にその理念を全員で唱和している。また、各ユニット毎に重点目標（目指す介護）を掲げ、管理者並びに職員は理念に沿ったケアの実践に努めている。	ホームの理念を玄関及び事務所に掲示し、朝礼時に唱和することで意識づけを図っている。また、現状にあった理念になっているかを常に考えながら、ケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の婦人学級に参加したり、グループホームでの行事等に町内会や地域の方々が参加して頂けるように、綿密な連携を図りながら交流を行っている。	町内会に加入し、利用者と一緒に婦人学級や地域行事にも参加している。また高校生の実習や保育園との交流、ボランティアの受け入れなども行われている。ホームの行事にも地域住民に参加してもらい交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	毎年連携する施設において認知症の勉強会や外部の研修に意欲を持って参加している。地域の方の相談や困りごとはネットワークなどを活用し対応に応じている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月おきに開催している。ご家族をはじめ参加者メンバーから出た検討事項などは毎月のスタッフカンファレンス時に情報を共有し、また意見を出し合いサービスの向上に努めている。	家族代表や地域包括支援センター職員・第三者評価委員・民生委員・町内会長等のメンバーで運営推進会議を開催している。ホームからの報告や意見交換を行っている。昨年度は残飯処理について段ボールコンポストの提案があり、早速取り組んでいる。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の相談員の方には訪問してもらっている。ご利用者の要望や状況を伝えている。	市の介護相談員や講習会の実習受け入れを行ったり、認定更新の機会等に情報交換をしてアドバイスをもらう等、市との連携及び協力に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設け拘束ゼロに向け勉強会や研修に参加し、職員一人ひとりに啓発を行っている。施設全体をはじめホームにおいても身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。	隣接する老人保健施設と連携を図り、定期的な勉強会を実施し、共有認識を図っている。昼間の玄関は施錠せずに職員間の連携で安全な暮らしを支援し、言葉による拘束を行わないようにしている。事故防止のための身体拘束については、家族に説明し同意を得ている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設の勉強会や外部研修に参加し、正しい理解を持ち防止するように努めている。スタッフ同士が気軽に話合える環境をつくり、ストレスを溜めないように心がけている。（長期休暇の取得など）		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	内部や外部の研修などに参加し個人や上司と情報交換を行い、制度を理解した支援に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時や面会・定期のカンファレンスにおいて困りごとや気になることなどを聞き出し、その都度納得していただけるように説明をしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	1年に1回家族会を行い、家族同士で意見を出す場を設ける事ができている。面会時や外出レクリエーションと一緒に参加してもらう事で職員へ思いを伝えてもらう事ができ、要望を運営に反映させる事ができている。	利用者からは日々の暮らしの中でゆっくりと話しながら思いを聞いている。家族からは家族会や行事参加時・運営推進会議で意見等を出してもらうよう働きかけている。個別に面会時や担当者会議では要望を聞くように努めている。聞いた意見は運営に反映するように話し合いをしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月職員会議を行い、職員同士意見を述べる機会を設け、改善できる事は取り組んで運営に反映させている。また、個別に面接を行ったり管理者へ話しやすい環境を作ることによって職員の意見や思いを聞いてもらう事が出来ている。	管理者は職員会議やユニット会議の時に職員の意見や提案を聞くとともにテーマを決めて話し合い、その反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	マニュアルに沿って働きやすい職場環境で業務遂行できている。リフレッシュ休暇や育児休暇・介護休暇など職員が取れるよう勤務調整を行い働きやすい職場環境となっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人職員には1年間指導する職員が付き、わからない事や困った事を相談できる環境を作っている。また、新人向けの研修や施設内の研修も毎月行っており、外部研修への参加率も高く職員の向上心の意識も高いと思われる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加入し、研修で意見交換を行ったり、ふるさと祭りや研修に参加する事でネットワークを広げサービスの質が向上できるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期は職員が変わっても統一したケアが行えるよう記録は詳細に記載している。また、困り事・不安・要望については寄り添ったケアの中で傾聴し、本人が過ごししやすい環境作りに努め支援している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所日のカンファレンス時にご家族の困り事・不安や要望はしっかりと確認し、気持ちの負担が少しでも取り除けるよう努めている。また、毎月メッセージカードで状態を報告する事によって担当職員を身近に感じてもらえるよう取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用開始時は、暫定プランを作成し、初期カンファレンス後に介護計画書を作成している。見直しは6か月毎であるが、本人の状態に変化があった際にはすぐに変更し、臨機応変に対応を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	得意分野を活かせるように関わりを持ち、掃除や畑仕事・生け花・料理など教えてもらう事で共に過ごし支えあう関係を築けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時などに利用者のここでの生活の様子を報告し、家族と情報交換を行いながら、家族・職員と共に本人を支えていく関係を築けるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人や家族より、これまでの生活歴や習慣などの情報収集を行い、本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、環境作りを行い、安心して生活できるよう、努めている。	一番身近な家族との関係を大事に連絡等を密に取り、利用者の状態や要望を伝えたり行事参加等を働きかける等、家族との関係継続の支援に努めている。また、家族の協力で墓参に出かけたり、馴染みの理美容院からホームに訪問してもらい利用している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、それぞれの利用者に合わせて支援を行いながら、利用者同士が関わりを持ち、楽しみを持てるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	何か困りごとがありましたら、ご相談してくださいと伝え、必要に応じて本人や家族の相談や支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いや希望を聞き、又、日々の生活の中での会話や表情から思いを察し、本人の希望や意向に合わせた支援をしている。	家族や関係者からの情報を得ながら、日々の関わりの中で観察し、言葉や表情等から思いや意向の把握に努めている。情報等はケア経過記録に記載して職員全体で共有し本人の思いを受けとめるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の情報、本人・家族からの情報収集を行い、これまでの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送り・記録・職員間の話し合いを行い、情報を共有することで本人の変化に気づき、暮らしの現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人に必要な関係者と情報や意見の交換を行いながら、情報を共有し連携を図っている。本人・家族の意向を聞きながら現状の合った介護計画を作成している。	6ヶ月毎に本人及び家族、担当職員等による担当者会議を開催し、事前に把握した他の職員の意見等を参考に、本人及び家族の意見を反映した介護計画を作成し、3ヶ月毎にモニタリングを実施している。状態変化時は随時計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の様子や出来事などを個別記録に記入し、情報を共有することで、本人に合った支援を行いながら、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の要望・希望に応じて、柔軟な支援に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を把握し、個人の能力を理解することで力を発揮できるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	主治医の往診を行う事で適切な医療を受ける事ができており、受診についても本人及び家族の希望を最優先に支援している。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診ができるように支援している。月1回の往診及び週1回の看護師による健康管理の他、随時の往診や本人及び家族の希望の専門医等で適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	個々の利用者の情報・気づきを看護師に伝え相談し、主治医へ報告してもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の体調の変化や薬の変更等をサマリーに記録し、情報提供に努めている、		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階から本人や家族に重度化した場合や終末期のあり方について、グループホームで出来る事・出来ない事を説明し理解してもらえるように取り組んでいる。	重度化や終末期に伴う対応の指針を本人や家族とよく話し合うとともに説明し同意書を得ている。また状況変化に従って繰り返し話し合い意思を確認している。職員全員がその方針を共有している。看取りの経験がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急法の研修や看護師から応急手当や初期対応の勉強会に参加し実践力を身につけている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練に参加し避難経路・避難場所の確認を行い、地域との協力体制作りをしている。	年2回消防署の立会いのもと、昼夜間想定避難訓練を実施している。スプリンクラーも設置され、地域住民や隣接している介護老人保健施設からの応援ももらえるよう体制もできている。災害用の食料等の備蓄もある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇や個人情報の保護について研修に参加し、利用者の誇りやプライバシーを損なわない言葉使いや対応に心掛けている。	居室やトイレの入室は声かけやノックの後で行う等、プライバシーに配慮した対応をしている。また、プライドを傷つけない言葉づかいや排泄誘導時等はさり気ない対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりと向き合い本人の希望や思いを伝えることができ職員側との会話も大切に自己決定できる様に支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調や表情をみながら他者との交流関係などに注意し一人ひとりのペースを大切にしながらその人らしい生活ができる様利用者の声を傾聴し希望に沿って支援している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎週3回の入浴は決められておりその日の体調によっては清拭になる場合もある 更衣も毎日行え身だしなみにも気を付ける様支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになる様嗜好品や味付けの仕方などを聞き一緒に買い物に出かけ食材を選んだり食事の準備、片付け等をしているその人に合わせた介助も行えている	利用者の希望に添った献立を工夫している。利用者も可能な範囲で買い物や準備、後片付けを職員と一緒にいたりしている。1週間に1度の刺身食や外食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事量・栄養バランス・水分量を考えその時々々の体調等により工夫した支援をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内の汚れ・匂い等に対し毎食後歯磨きを行い義歯は每晚ポリデント等にて消毒をしている。口腔内に異常がある時はその都度歯科衛生士に連絡している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の声掛けや排泄の確認など行いながら自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、自尊心に配慮しながらトイレでの排泄を大切にしている。夜間のみポータブルトイレを使うなどして、昼間はトイレ誘導を行い、おむつを減らす取り組みと排泄の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の食事の献立にも食物繊維等野菜を多く使用し朝一番の水分補給等の工夫や個々に応じた運動にも取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週3回と決められておりその日の体調や希望により変わる場合もある。それぞれのペースに合わせた入浴の支援をしている	入浴は週3回午後実施し、職員の介助でゆっくり話ながら入浴を楽しんでいる。入浴を嫌がる利用者には、時間を置いて声かけを行ったり、希望に沿って同性介助を行う等、個別の対応に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人のペースに合わせて休息をとってもらい、夜間安眠出来るような支援や活動を日中に行っている。(体操やゲーム、散歩、日光浴)		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護スタッフとの情報の共有を図り内服薬の内容や副作用などの確認を行っている。服薬チェック表にて毎日の管理も行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節に合った調理レク(五月:チマキ作り、らっきょ漬け、)や壁画、畑作りなど個人の体調やペースに合わせてスタッフ援助行いながら支援行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩や買い物など利用者の体調見ながら一緒に行く機会を作っている。月1回、外出レクリエーション計画し、家族同伴での外出の機会を作る。また地域交流として女性学級にも参加している。	日常的には散歩や買い物、ベランダでの日光浴、ドライブなど戸外に出かけられるよう支援している。さらに年間計画を立てて、花見や外食など家族も一緒にでかけることもある。車椅子対応車を利用して外出支援も行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族からの預り金は出納簿で管理をし必要時、希望に応じて個人が買い物に楽しんで行ける用にしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	玄関入口に公衆電話設置されており自由に電話をかけれるようにしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた壁画をホールに飾り、窓辺の風鈴や、その時にあった花を生けるなど、日常生活の中で季節感を味わってもらっている。庭には畑があり季節の野菜や花を作っている。	適度な温度に保たれた明るいホールは、飾り付けで季節が感じられるように配慮されている。ホールから続く廊下は、ソファやベンチが置かれて、車椅子での移動も楽にできる広さで、くつろげるスペースになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにはソファも置いてあり利用者同士で会話を楽しんでいる。また居室は個室になっており、利用者それぞれ思い思いの時間を過ごされている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない